

## 日本産業ストレス学会 研究法講座（令和5年度第2回）

■テーマ：「質的研究法入門」

■日時：2024年2月18日（日）13:00-16:00

■場所：オンライン（Zoom）にて開催

■参加費：日本産業ストレス学会会員 2,000円，当学会非会員 4,000円，  
学生・大学院生 1,000円

### ■研修プログラム：

質的研究法は、インタビューや面接などを通して得られた自然言語などをデータとして研究する手法を指します。これらは、データの分析手法だけでなく、依拠する理論的根拠、学問、あるいは科学に対するパラダイムも異なることがあり、体系的に学ぶことはなかなかできません。学会員のみならずからも多くのニーズが寄せられていたテーマでしたが、今回、日本赤十字看護大学の吉川先生をお招きして、質的研究法の基本についてお話いただけることになりました。ナラティブ分析、グラウンデッド・セオリー・アプローチなどの手法や、各手法の特徴について、まとめてお話いただける予定です。まだ研究の経験がない方にも役立つ知識になるかと思いますので、ぜひご参加を検討ください。

13:00-14:00 理論編：「質的研究とは何か：理論と手法」

14:00-15:00 実践編：「質的記述的研究におけるデータ収集と分析の実際」

15:00-16:00 質疑・個別研究相談（希望者のみ）

講師：吉川悦子（日本赤十字看護大学・准教授）

### ■講座の対象と内容：

対象：研究の経験がない方を含むすべての方。

内容：質的研究法の基本、および各手法の特徴について学ぶ。

### ■申込方法：

1. 下記申込フォームから参加登録を行ってください。

<https://forms.gle/sx7mHUWTVW2HhcCM9>

2. 参加お申し込みから一週間以内に、郵便局備え付けの払込取扱票をご利用のうえ、下記振替口座に参加費のお振込みをお願いいたします。参加費は参加者区分によって異なりますので、お間違いのないようお振込みください。

郵便振替口座番号：01720-6-85434

ネットバンクなど他行からお振込の場合

ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）店名：一七九店（イチナナキュウ店）

預金種目：当座 口座番号：0085434

口座名義：日本産業ストレス学会研修会

※備考欄に「令和5年度第2回研究法講座参加費」と明記ください。

3. ご入金を確認できた参加者のみなさまには、後日、登録いただいたメールアドレス宛に、研修のためのZoomのURLをお送りいたします。

■申込受付：2023年12月11日（月）～2024年2月9日（金）

（定員50名。定員になり次第、締切致します。）

■申込・問合せ先：日本産業ストレス学会事務局

〒160-0011 東京都新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F (株)ヒューマン・リサーチ内 担当：上田

E-mail: [jajsr-office@human-research.co.jp](mailto:jajsr-office@human-research.co.jp)

講師担当窓口 渡辺（北里大学）: [kzwatan@kitasato-u.ac.jp](mailto:kzwatan@kitasato-u.ac.jp)

日本産業ストレス学会研究法講座内容・水準シート

水準 この研究法講座は、以下のレベルの方を対象にしたものです。

|                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
|                            | ◎=主な対象<br>○=受講可能な人 |
| 1 研究をしたことのない人              | ○                  |
| 2 データ収集と分析の経験のある人          | ◎                  |
| 3 修士在学・修了者などこれまでに研究の経験のある人 | ○                  |

内容 この研究法講座では、以下の内容を学ぶことができます。

| 項目       | 内容                   | この講座で学べるもの<br>◎=主に学ぶもの<br>○=関連して学ぶもの |
|----------|----------------------|--------------------------------------|
| A 疫学研究編  |                      |                                      |
| 1 研究の基礎  | 価値のある研究とは何か、仮説とは     |                                      |
| 2 研究デザイン | 研究デザイン、バイアス、研究ガイドライン | ○                                    |
| 3 データ収集  | 必要サンプル数、尺度の使い方、倫理的配慮 |                                      |
| 4 統計解析   | 推定と検定、解析モデル、統計ソフト    |                                      |
| 5 論文の書き方 | 論文執筆、投稿、査読対応         |                                      |
| B 質的研究編  |                      | ◎                                    |